



私が介護を選んだわけ

「自分が信じた道に進んで良かった」
「反対を押し切って(笑)」

Video Story

Video Story
「ふくしのトビラ」
ぜひご活用ください!

介護福祉士の上条百里奈さんは塩尻市出身。中学生の頃、ボランティアに行った老人ホームで「介護のカッコよさ」に気付き、先生や家族の「反対を押し切って(笑)」介護福祉士養成校に進みました。今は介護福祉士として働きながら大学の講師や介護の魅力を発信するモデルとしても活躍しています。その想いを動画にしました。ぜひご覧ください!!



「県民のみなさまに福祉・介護の仕事の魅力をお伝えしていきたいと思います!」

Video Story ふくしのトビラ 【キャリア編】

学校の進路指導の先生に向けた
ショートバージョンです。

6分のYouTube動画



Video Story ふくしのトビラ 【エピソード編】

授業や進路指導で生徒のみなさんに
見ていただきたいバージョンです。

10分のYouTube動画





Video Story

私が介護を選んだわけ

「自分が信じた道に進んで良かった」

Video Story 「ふくしのトビラ」 内容紹介

● キャリア編
● エピソード編

【共通】
4分



QUONチョコレート（長野市南千歳）

社会福祉法人の若手職員が誘致した、障がいのある人が働くチョコレート・ブランドショップを訪問しました。同店の酒井店長は「チョコレートは失敗したら溶かしてまた作れる。失敗して怒られたトラウマがある利用者にとって、安心して働ける職場を目指します。」と話してくれました。

介護の仕事との出会いは

私は中学生の時、施設でのボランティア体験学習がきっかけで、介護職員を志しました。上司に怒られても、“自分で歩きたい”という高齢者の思いに寄り添うことを譲らない、かっこいい介護職のお兄さんがいたんです！

【キャリア編】
2分



自分の気持ちを信じてよかった

親や先生方の意見を聞かずに(笑)、介護の道に進みました。自分の気持ちを信じてよかったと思います。ひと昔前とは違って、認知症ケアなど介護技術も進歩しています。介護する人もされる人も嫌な思いをしなくて済むように、「楽しい」を重視した現場が増えてきていますよ。

「楽しい」を重視した現場が増えてきた

介護福祉士などの資格をとれば、今は、手当などもしっかりつくようになっていきます。福祉・介護の道に興味がある子がいたら、心配なさらず、資格取得の方法とか、具体的なアドバイスをしていただきたいなと思います。

【エピソード編】
6分



介護のプロとして大切にしていることは、『雑談』と『信頼関係』

今、在宅介護サービス事業所に勤務しています。ひきこもりの“おばあちゃん”が、デイサービスに通いはじめ、ちゃんとお風呂にも入ることで、見違えるように…。今はおしゃれに過ごされている印象的な事例があります。デイサービスに通うお気持ちになるまで、3か月間ほど、雑談だけをしに通ったんです。そうやって信頼関係を作れることが「介護のプロ」に大切なことだと思っています。